



平成 30 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社細田工務店  
 代表者名 代表取締役社長 阿部 憲一  
 (コード番号:1906 東証 JASDAQ)  
 問 合 せ 先  
 役職・氏名 取締役経営企画部長 武藤 雅康  
 電 話 03-3220-1111

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 14 日の平成 30 年 3 月期決算発表時に開示した平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正 （平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 11,928	百万円 48	百万円 △95	百万円 △104	円 銭 △5.57
今回修正予想（B）	9,483	△82	△212	△217	△11.62
増 減 額（B－A）	△2,444	△131	△117	△113	—
増 減 率（％）	△20.5	—	—	—	—
（ご参考）前期第 2 四半期末績 （平成 30 年 3 月期第 2 四半期）	7,428	△54	△184	△191	△10.23

#### 2. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正 （平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 11,277	百万円 △113	百万円 △118	円 銭 △6.30
今回修正予想（B）	9,058	△200	△205	△10.95
増 減 額（B－A）	△2,218	△87	△87	—
増 減 率（％）	△19.7	—	—	—

### 3. 修正の理由

#### <連結>

当第2四半期累計期間における売上高につきましては、不動産事業のうち戸建分譲事業において、前期に販売を開始した完成在庫の販売促進に注力するとともに新規の分譲住宅の供給を行ってまいりましたが、完成在庫の販売に時間がかかったことから、分譲事業全体の販売に遅れが発生いたしました。また、平成30年3月期より本格的に活動を開始した、子会社による買取再販、仲介事業におきましても、物件価格の高騰などの影響から、当初計画した販売戸数、取扱高には至りませんでした。このため、不動産事業の売上高は当初計画より2,634百万円下回り、5,779百万円となる見込みであります。

建設事業につきましては、リフォーム受注、注文受注において、計画を上回る受注を獲得し、法人受注におきましても、ほぼ計画通りの進捗となったことから、建設事業における売上高は当初計画を192百万円上回る3,706百万円となる見込みです。

これらの結果、全体の売上高は、前回予想11,928百万円に対し9,483百万円と2,444百万円下回る見込みであります。

利益面につきましては、粗利益率は計画を上回りましたが、売上高の減収に伴う減益のため、販売費及び一般管理費等の経費削減に努めたものの、95百万円の経常損失予想に対し、212百万円の経常損失と前回予想を117百万円下回る見込みであります。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前回予想104百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失に対し、217百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失と前回予想を113百万円下回る見込みであります。

なお、平成31年3月期通期業績予想につきましては、当初計画の達成に向けて分譲住宅の新規販売の促進による売上高の確保並びに原価低減、販売費及び一般管理費の削減に取り組むことにより、現時点で業績予想の修正は行わないこととしております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上